

中期経営方針

***Get Ahead of the Future***

～新しい時代の先へ～

2018年4月

ダイトウボウ株式会社

**daitobo**

# 本方針の基本的な考え方

## (1) 経営環境について

わが国の経済は、2020年東京オリンピック以降も緩やかな成長の継続が見込まれる一方で、深刻な人手不足、第4次産業革命の進展に伴う劇的な市場変化、世界的な政治経済動向の不透明さなど、不確実性の高い時代となることが予想されます。

今回の中期経営方針は、それらの変化を敏感に感じ取り、新たなビジネスチャンスに繋げるため、5年間という中期的な方針とし、不確実性の時代に即応していきます。



## (2) 経営のビジョン

120年を超える当社の歴史と伝統を背景に、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」に基づき、発想力を活かし無限大の可能性へ挑戦していきます。持続的成長と中長期的な企業価値の向上を実現し、社会に役立つ企業、環境に優しい企業、人々の笑顔を大切にする企業となり、日本のより良い未来の創造に貢献します。

## (3) 経営資源の配分方針

財務の健全性と人材の確保を前提に、成長投資を優先した上で、適切な株主還元を行います。

# 旧中期経営計画の総括

2年間で、「財務体質の強化」「プロパー事業の強固な基盤作り」「利益の底上げ」の3つを基本的な考え方として取り組みました。

この間、当社創立120周年を機に、新社名制定、本社移転、監査等委員会設置会社への移行、株主優待制度導入、さらにはシンジケートローンによる長期資金調達、各事業における親密先を中心とした複数の資本業務提携の実施など、3つの基本的な考え方に沿っ

た数々の改革に取り組み、ヘルスケア事業の健康ビジネス部門や繊維・アパレル事業において粗利率が改善し、経費削減も進むなど損益計画は概ね順調に推移してきました。

しかしながら、最終年度末に、新たにスタートさせる本中期経営方針に基づき商業施設事業に関する投資を決めたため、黒字は確保するものの、損益計画は未達成となりました。

## 損益計画

	計画	実績	差異	本中期経営計画 スタート前 2015年度比
経常利益率	5%以上	3.5%	▲1.5%	+2.1%
ROE	5%以上	2.4%	▲2.6%	▲0.5%
流動比率	120%以上	182.9%	62.9%	+142.2%
自己資本比率	25%以上	23.5%	▲1.5%	+0.9%

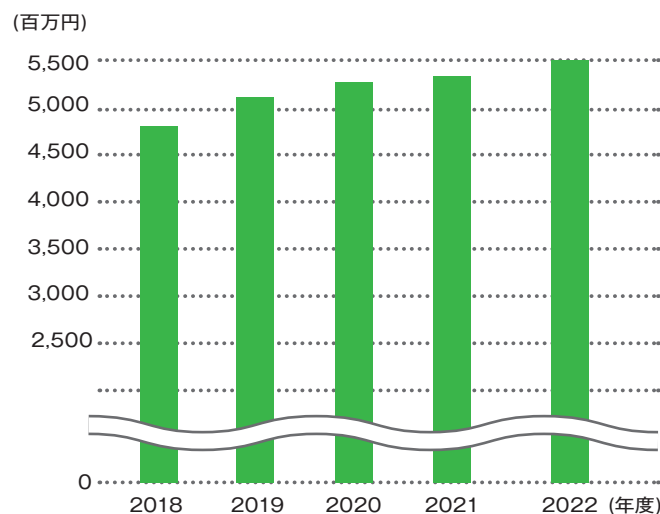


# 柱となる戦略イメージ

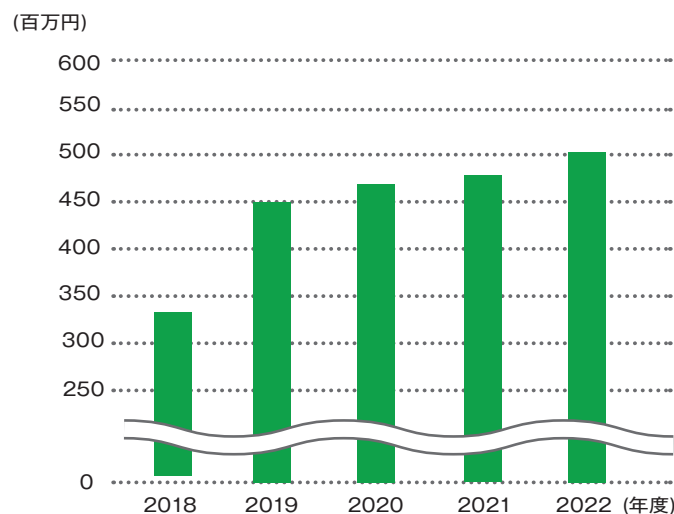


# 主要な損益目標・財務目標

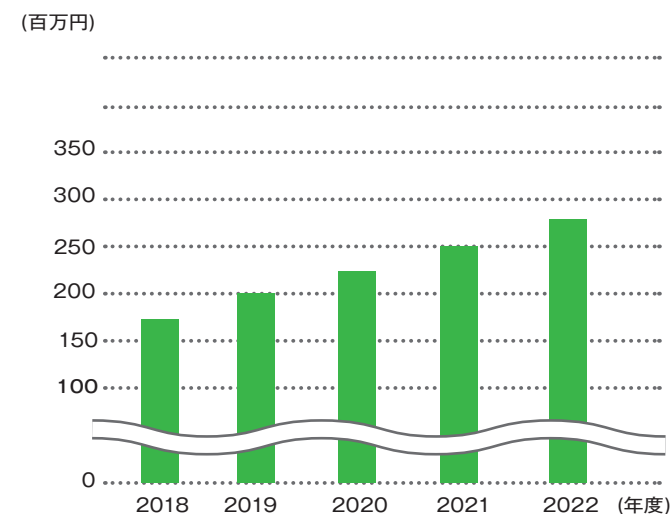
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 損益目標

(単位:百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	4,750	5,100	5,300	5,400	5,500
営業利益	340	450	470	480	500
親会社株主に帰属する当期純利益	170	200	220	250	280

## 財務目標

(単位:百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022
営業利益率	7%	9%	9%	9%	9%
NetDER *1	215%	225%	200%	175%	155%
ROE *2	4%	4%	5%	5%	5%

\*1 NetDER : 純有利子負債資本倍率 = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

\*2 ROE : 株主資本利益率 = 1株当たり当期純利益 ÷ 1株当たり自己資本



掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

# 柱となる戦略 1 成長投資と維持更新投資への優先的な取り組み

**財務の健全性と人材の確保を前提として、  
成長投資と設備の維持・更新に対し、優先的に経営資源を振り分けます。**

## (1) 商業施設事業は最優先で継続投資

商業施設「サントムーン柿田川」(静岡県所在)の増床・リニューアル工事

2018年はダイトウボウグループが静岡県に三島工場を開設以来100周年の節目となる年です。ダイトウボウの第二の故郷ともいえる静岡県東部・伊豆地域の発展は、当社の永続的な社会的使命のひとつです。さらなる地域の発展に貢献するため、2018年中に、当社の資本業務提携先である株式会社シードと連携し、商業施設「サントムーン柿田川」の第4期開発に着手します。(次ページご参照)

2019年夏の竣工を目指しており、第4期の本格開業後には、施設の総取扱高が全国有数の270億円程度になり、年間買上客数が1,000万人近くにまで増加することを見込んでいます。

## (2) ヘルスケア事業部門の国内工場の設備投資

ヘルスケア事業部門(新潟県十日町市所在)における設備投資についても、今後の成長に備えた設備投資を必要に応じて順次実施いたします。



# (参考) サントムーン柿田川の増床・リニューアル工事 (第4期開発) 概要

## ●開発コンセプト

「Happy New Junction の誕生」

開業 20 周年を経過し、新しいステージに飛躍する。



項目	概要 (完成後)
所在地	静岡県駿東郡清水町玉川61番地2 ※新幹線三島駅から南に約2キロ、国道1号線沿いに立地。 名水100選の柿田川公園に隣接しています。
敷地面積	約108,000㎡
開店日	2018年 4月 増床・リニューアル工事着工 2019年 夏 増床・リニューアル工事竣工予定
建物延床面積	約119,000㎡
駐車台数	約3,270台
テナント面積	約66,000㎡



# 柱となる戦略2 事業規模の拡大と収益性の向上

## (1) 事業規模の拡大

柱の事業である商業施設事業に思い切って経営資源を傾斜配分することにより、当社グループとして、事業規模の拡大と収益性の向上を確実なものとしていきます。

### ◆ESGとCSVを意識

ESG… 環境・社会・ガバナンス

CSV…各ステークホルダーとの共通価値を創造すること

### ◆バリューチェーンによる価値の創造

## (2) 具体的には

◆当社の独自性を活かしつつ、資本業務提携先とのコラボレーション等の取り組みを一層強化し、目の前のビジネスチャンスをしっかり捉える

◆商業施設事業を始めとした当社グループの各事業のシナジーを意識した新規事業の創出

◆ヘルスケア事業における事業買収やコラボレーション取り組みの強化



# セグメント毎の損益目標

A.商業施設事業 B.ヘルスケア事業 C.繊維・アパレル事業

## 戦略テーマ

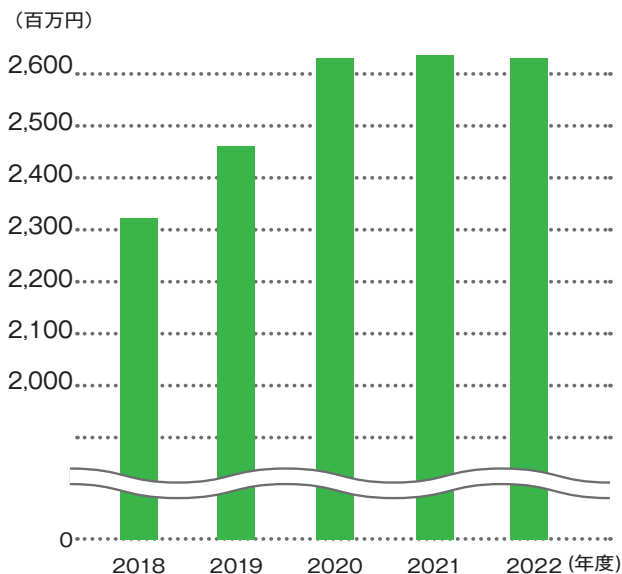


地域社会への貢献

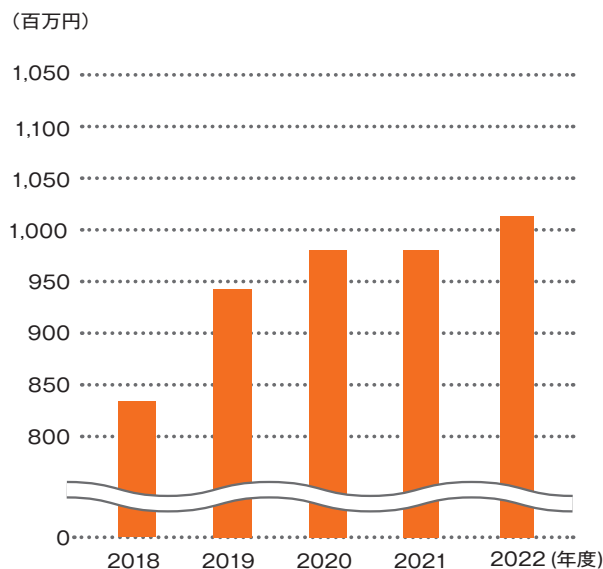
利用者の豊かな生活の創造

地域一番店としての競争優位の確保

売上高



セグメント営業利益



損益計画

(単位:百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	2,330	2,480	2,610	2,610	2,610
セグメント営業利益	840	940	980	980	1,010

**daitobo**

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

# セグメント毎の損益目標

A.商業施設事業 **B.ヘルスケア事業** C.繊維・アパレル事業

## 戦略テーマ



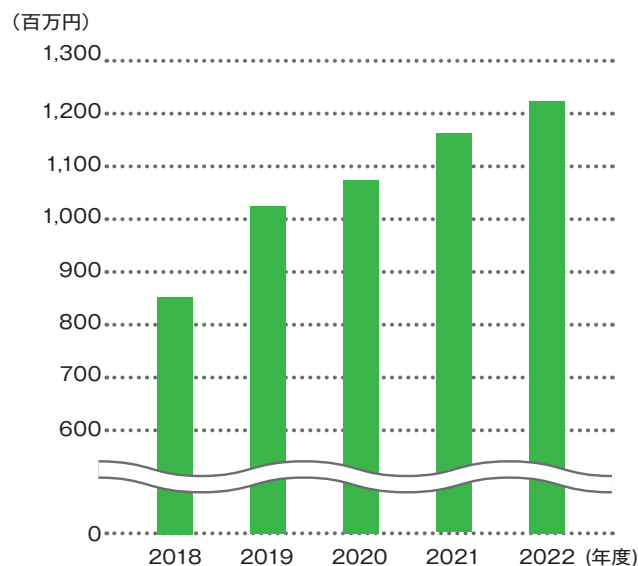
健康長寿社会への貢献

良質な睡眠の提供を通じた睡眠関連ビジネスへの注力

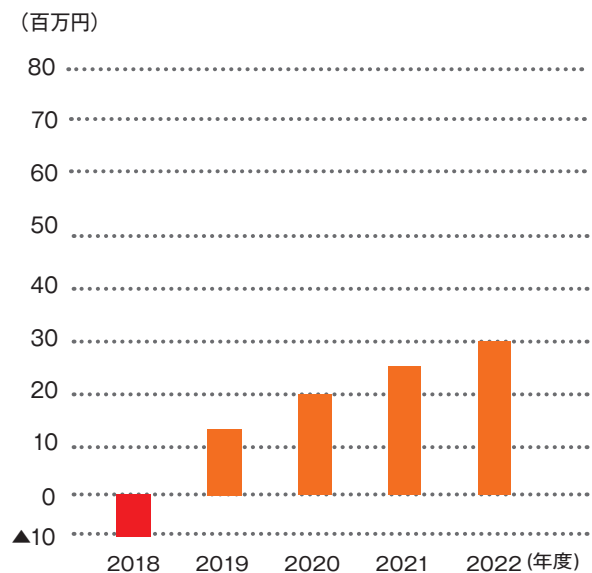
国内グループ工場を活用したJapanクオリティの提供

ネット関連などデジタル化の波に乗るビジネスへの取り組み

### 売上高



### セグメント営業利益



### 損益計画

(単位:百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	850	1,020	1,080	1,160	1,210
セグメント営業利益	▲10	15	20	25	30



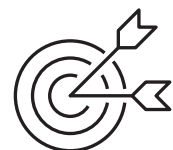
**daitobo**

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

# セグメント毎の損益目標

A.商業施設事業 B.ヘルスケア事業 **C.繊維・アパレル事業**

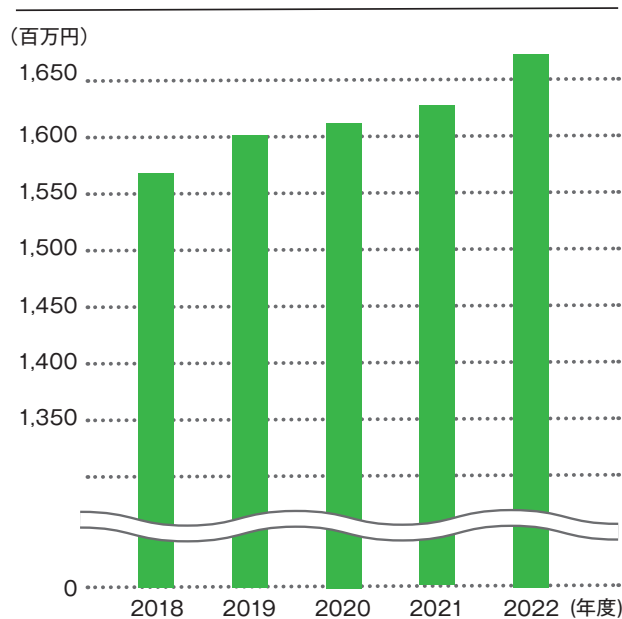
戦略テーマ **魅力的なライフスタイルの創造**



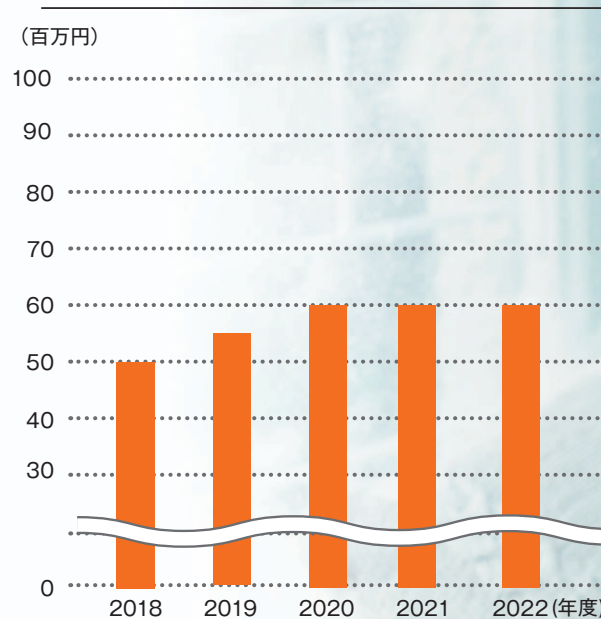
**祖業である毛織物を活かしたニット・ユニフォーム事業強化**

**シェアリングエコノミーなど新しい消費スタイルへの取り組み**

売上高



セグメント営業利益



損益計画

(単位:百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	1,570	1,600	1,610	1,630	1,680
セグメント営業利益	50	55	60	60	60



**daitobo**

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

# 新規事業の創出

## SYNERGY & COLLABORATION (シナジー & コラボレーション)



商業施設事業・ヘルスケア事業など、当社グループ事業間のシナジー、提携先とのコラボレーションなどを活かして、新規事業の創出に取り組みます。

時代の変化に即応して柔軟に新規事業候補を検討していきます。

- 例) ● 可溶性ウールに関する特許技術の応用製品の開発  
● IoT、ビッグデータ等を利用した販売ルート構築



PATENT

daitobo

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

# 柱となる戦略3 財務マネジメントの強化と復配

## (1) 財務マネジメントの強化・復配に目処

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、財務の健全性確保を強化します。

本中期経営方針期間中に、長年の課題であった復配に目途を付け、財務体質の健全化を図ります。



### 具体策

財務目標を設定、目標達成に取り組む

フリーキャッシュフローの確保

有利子負債残高の圧縮

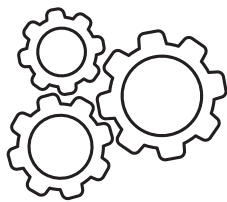
※なお、成長投資は原則フリーキャッシュフローの範囲で行う考えではありますが、当社商業施設「サントムーン柿田川」の第4期開発資金としてシンジケートローン（コミットメントライン）を設定しました。



# 柱となる戦略4 人材の確保と育成

## (1) 働き方改革への取り組み

ITリタラシーの強化を柱とした人材育成などにより生産性・効率性の一段の向上を図り、働き方改革に取り組めます。



## (2) 女性が活躍できる環境作りの推進

繊維・アパレル、ヘルスケア、商業施設の各事業とも、女性の活躍の場が多く、今後は女性視点からの取り組みを強化し、女性が活躍できる環境づくりを推進します。



新しい時代の先を行く、しなやかで  
強靱な企業文化を創造します。

daitobo

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します



# 柱となる戦略5 コーポレートガバナンスコードに沿った経営の徹底

## 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を 確実なものとしていくために

- (1) コーポレートガバナンスコードに沿った経営を引き続き徹底し、十分な牽制機能が働くよう、独立社外取締役比率50%を維持致します。
- (2) 監査等委員会を始めとしたガバナンス体制の維持・強化を図るとともに事業活動を通じた社会的課題への対応も推進、経済的価値・社会的価値の両面でプラスの価値を創造致します。
- (3) 事業ポートフォリオマネジメントを強化致します。
- (4) 事業活動全体を通じて、株主・取引先・顧客・地域社会・従業員等各ステークホルダーの利益を意識致します。



# グループ企業の紹介

## 上海大東紡織貿易有限公司

〈繊維製品のOEM生産・販売・輸出入〉  
中華人民共和国 上海市長寧区天山西路120号  
兆城ビル802号室  
TEL 021-62757733



## 新潟大東紡株式会社

〈健康医療関連機器、一般寝装品の開発・製造〉  
〒948-0123 新潟県十日町市下平133-1  
TEL 025-768-2996



## 大東紡エステート株式会社

〈ショッピングセンターの管理・運営〉  
〒411-0902 静岡県駿東郡清水町玉川61-2  
TEL 0559-81-8800



daitobo

掲載の内容を無断転載・複写することを禁止します

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。  
本資料が当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

本資料に記載されている内容、損益計画数値等は、  
減資等に関する株主総会議案が決議されることを前提に、  
税負担の軽減を見込んでいます。

また、2018年3月28日付公表の  
「事業の一部譲受けに関する基本合意書締結のお知らせ」に  
基づく事業譲受けは、前提にしておりません。